

普及活動情勢報告（平成28年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

高品質を目指す土佐市メロンの新しい栽培管理 ～オランダの環境制御技術を学ぶ～



アルコ氏によるアドバイス

6月23日、土佐市新居地区のメロンハウスで、施設園芸フォーラムの講演者として来高していたデルフィージャパンのアルコ氏を迎えて環境制御等現地検討会を開催しました。当日は農業改良普及課の呼びかけで、メロン生産者5名、JA営農指導員5名、普及指導員3名の計13名が参加し、最先端の環境制御技術を学びました。アルコ氏からは、プレナイトドロップや飽差に視点を置いた換気の仕方等が紹介され、生産者は納得した様子で聞いていました。

また、生産者から、光を反射する白マルチやカーテンの種類等、日頃疑問と思っていた多くの質問があり、熱心に質疑応答が行われました。

環境制御、集落営農、鳥獣害対策等で生産者の声を生かします ～中央西地区普及推進協議会開催～



普及指導計画の説明

農業改良普及課は、7月1日土佐合同庁舎において、農業者・関係機関を集め、中央西地区普及推進協議会を開催しました。協議会では、今年の普及指導計画の内容について意見交換し、今、県が進めている施策について情報提供を行いました。

委員からは、環境制御や鳥獣害対策等に対する意見が出され、環境制御の実証ほにおいて、収量が向上したという報告もありました。

こうした、情報提供や意見交換により、県の施策や地域で進められている取り組みが、共有化されました。

農業改良普及課では、今後も、こうした協議会や普及指導の機会を通じ、生産者等の意見を普及指導計画に生かしていきます。

炭酸ガスの効果は？ ～JAとさしイチゴ部会が反省会を開催～



苗の状態を確認する参加者

JAとさしイチゴ部会は7月13日に反省会および育苗ほの現地検討会を開催し、6名の生産者が参加しました。

農業改良普及課から、イチゴにおける炭酸ガスの施用効果や、H28年1月から炭酸ガス発生装置を導入した高設栽培ほ場の調査結果を紹介しました。

導入農家の「例年に比べ大玉果が多かった」という感想を受け、参加者らは炭酸ガスの施用方法や施用後の肥培管理等について、予定時間を大幅に超過するほど熱心に意見交換をしていました。

農業改良普及課は、今後はまず、簡易な環境モニタリング装置を利用してほ場の「見える化」を進めながら、環境制御技術の普及に取り組んでいきます。

労働力確保補完システム、担い手の確保・育成に係る先進地事例調査を実施
～ J A とさし土佐文旦部会が愛媛県西宇和地域の取組を調査しました～



アルバイト等の宿泊施設「マンダリン」の案内を受ける部会員達

管内には、県内有数の土佐文旦産地がありますが、労働力不足と担い手確保が課題になってきており、高齢化と相まって「産地の力」に陰りが見えてくることが懸念されています。

そこで農業改良普及課は、7月14日に、これらの課題解決の参考にするために、J A とさし土佐文旦部会、関係機関と共に先進優良事例調査を企画・実施しました。

西宇和地域では、推進組織「西宇和みかん支援隊」を立ち上げ、農繁期の労働力確保や担い手の確保・育成・定着に成果を上げていました。部会員は、素晴らしい取組、特に廃校を改修した宿泊施設まで用意していること等参考になったようでした。

農業改良普及課は、今回の調査結果を参考に土佐文旦部会、関係機関と共に地域の将来を見据えた解決策を見出していきます。

平成29年、全国の担い手を土佐市・いの町で受け入れる概要が決定
～全国農業担い手サミット中央西地域実行委員会開催～



実行委員会の様子

平成29年の全国農業担い手サミットは高知県で開催されます。7月4日、土佐合同庁舎において、高知でのサミット実施に向けて、中央西地域実行委員会を開催しました。

土佐市の認定農業者門田さんを実行委員長に、農業改良普及課が事務局で取組んでいくことになり、具体的な地域交流会や視察コースと今後のスケジュール等について検討しました。

委員から「地域交流会では、地域の生産物を利用した料理を提供したらどうか」との提案もあり、今後関係機関とも協議を進めることになりました。

農業改良普及課は、今年行われる岐阜でのサミットへの参加と、29年度開催に向け、幅広い地域での受け入れ体制構築を支援していきます。